

財政健全化

地域産業資源

中部経済産業局
産 業 局

事業計画、県内8件認定

石川25件で全国3位

中部経済産業局は二十三日、地域資源を活用した新ビジネスとして中小企業から申請のあった「地域産業資源活用事業計画」の今年度第四回認定を行い、石川からこれまでで最多の八件を追加認定した。今年度の認定件数は昨年度を上回る十三件で、累計二十五件は北海道、沖縄県に次ぐ全国三位となった。

このうち繊維や伝統工芸品を含む鉱工業品の認定では、石川は二十四件で全国トップとなった。

追加認定の八件のうち

鉱工業品は全国トップ

ち二件は、県が今年度創設した「いしかわ産業化資源活用推進ファンド(活性化ファンド)」に採択された事業者、または連携協力が選ばれた。

経済活性化の起爆剤に位置付けており、新年度は小規模事業者枠を創設し、新産業をきめ細やかに育てる方針。「今後も意欲ある取り組みを支援し、成功事例を多く創出したい」(産業政策課)としている。今回認定を受けて事業者は次の通り。

衣類製造販売のMAGIC(金沢市)と呉服販売の花岡(同)で、県は、活性化ファンドを活用して事業計画を拡大、洗練させることで今回の認定につながったとみている。

県はファンドを地域

▽海苔(金沢市)「ステンレス入りストレッチ手袋等の専門店」と販路拡大
▽加賀守山園(加賀市)「山下ミン商店(白山市)」「堅豆腐を活用した焼酎の焼きいなの商品開発」と販路拡大
▽金田繊維(鹿野市)「レースの製造技術を活用した立体型高級トーションレースの製造と販路拡大」
▽志賀清純味噌製造(能登町)「能登海洋深層水・発芽米麹を使用した超低塩味

県税収入額(地方法人特別譲与税除く)



基金

